

VII. 科目等履修生が入学時に選択できる授業科目の一覧

索引 (授業科目区分別五十音順)

科目等履修生が、入学時に選択できる授業科目の一覧です。
授業科目の内容は、順次ホームページでご案内します。

科目 コード	授業科目名	単位数	科目等履修生 の受講料	
			10,000円	20,000円
教養教育科目				
あ 科目の内容はこちらをクリック				
GA24	異文化コミュニケーション論	2	○	
GA27	大人の音楽史入門	2	○	
か 科目の内容はこちらをクリック				
GA18	ガストロノミ (ワインと食文化)	2	○	
FB61	環境論入門	2	○	
FC71	基礎英語 (I)	2	○	
FC72	基礎英語 (II)	2	○	
FB71	経済学	4		○
GA11	健康とスポーツ	2	○	
GA22	現代ファッションを考える	2	○	
GA34	コミュニケーション論	2	○	
さ 科目の内容はこちらをクリック				
GF01	産業能率大学とマネジメント	1	1単位科目なので5,000円。	
GA05	仕事の社会学	2	○	
GA09	仕事をマネジメントする	2	○	
GA04	社会学概論	2	○	
GA16	社会人常識マナー検定	2	○	
FB60	小論文の書き方入門	2	○	
GA33	女性のためのキャリア・デザイン	2	○	
FD23	ストレスとこころの健康	2	○	
GA14	政治学入門	2	○	
GA03	世界の歴史	2	○	
FB76	創造性の開発	4		○
た 科目の内容はこちらをクリック				
GA23	大学での学び方	2	○	
GA28	地理で世界をみわたす	2	○	

科目 コード	授業科目名	単位数	科目等履修生 の受講料	
			10,000円	20,000円
た 科目の内容はこちらをクリック				
GA30	D.カーネギーの人を動かす	2	○	
な 科目の内容はこちらをクリック				
GX01	日本漢字能力検定 I	2	○	
GA06	日本の文学とことば	2	○	
GA01	日本の歴史（古代・中世・近世史）	2	○	
GA02	日本の歴史（近現代史）	2	○	
は 科目の内容はこちらをクリック				
GA29	はじめて学ぶ文化人類学	2	○	
GA21	PCビジネス文書	2	○	
GA07	ビジネス文書の基礎	2	○	
GA25	法学概論	2	○	
ら 科目の内容はこちらをクリック				
GA31	論語に学ぶ人徳力	2	○	
わ 科目の内容はこちらをクリック				
GA32	私たちの生活と環境リスク	2	○	
専門教育科目				
あ 科目の内容はこちらをクリック				
HA71	アサーション	2	○	
HA60	新しい人事労務管理	2	○	
HA81	英語で語る日本	2	○	
HA64	英文ビジネスライティング	2	○	
か 科目の内容はこちらをクリック				
FE32	介護における人間理解	4		○
FE35	家族・地域社会・余暇を考える	2	○	
FD40	考える力をつける	2	○	
FT32	企画書の作り方	2	○	
HA84	企業家に学ぶ経営	2	○	
FE33	健康と生きがい	2	○	
FE34	健康と福祉	2	○	
FV55	健康保険法	2	○	
HA83	現代企業がわかる	2	○	
FV57	厚生年金保険法	2	○	
FL71	行動科学	4		○

科目履修が
入学時に選べる
授業目の一覧

科目 コード	授業科目名	単位数	科目等履修生 の受講料	
			10,000円	20,000円
か 科目の内容はこちらをクリック				
HA57	高齢者心理学	2	○	
FE36	高齢者の雇用問題	2	○	
HA55	高齢者の福祉	2	○	
HA76	国際経営	2	○	
HA82	国際社会を学ぶ	2	○	
FV56	国民年金法	2	○	
HA86	コトラーの成長戦略	2	○	
FV53	雇用保険法	2	○	
HA91	これからの女性の働き方	2	○	
さ 科目の内容はこちらをクリック				
GA15	サービスマインドの基本	2	○	
HA93	実践英語・リスニング	2	○	
HA94	実践英語・リーディング	2	○	
FD22	社会心理学	2	○	
HA54	社会福祉入門	2	○	
FV59	社会保険に関する一般常識	2	○	
HA96	社労士の基本を学ぶ	2	○	
FD20	生涯発達の心理学	2	○	
HA88	初級メンタルヘルス・マネジメント	2	○	
FJ38	情報解釈力を鍛える	2	○	
HA61	情報ビジネス概論	2	○	
HA87	スティーブ・ジョブズのイノベーション	2	○	
HA98	税理士のための簿記論Ⅰ	2	○	
HA99	税理士のための簿記論Ⅱ	2	○	
HH01	税理士のための簿記論Ⅲ	2	○	
HH02	税理士のための簿記論Ⅳ	2	○	
HH03	税理士のための財務諸表論Ⅰ	2	○	
HH04	税理士のための財務諸表論Ⅱ	2	○	
HH05	税理士のための財務諸表論Ⅲ	2	○	
HH06	税理士のための財務諸表論Ⅳ	2	○	
HH07	税理士のための財務諸表論Ⅴ	2	○	
FD42	説得・交渉力を高める	2	○	
HB03	組織のマネジメント	4		○

科目 コード	授業科目名	単位数	科目等履修生 の受講料	
			10,000円	20,000円
さ 科目の内容はこちらをクリック				
HA29	租税法入門	2	○	
た 科目の内容はこちらをクリック				
FD41	伝える力を伸ばす	2	○	
な 科目の内容はこちらをクリック				
FD21	人間関係を学ぶ心理学	2	○	
は 科目の内容はこちらをクリック				
HA75	P.F.ドラッカーに学ぶマネジメント	2	○	
HA72	ビジネス対話の技術	2	○	
HA58	秘書実務Ⅰ	2	○	
HA59	秘書実務Ⅱ	2	○	
FS73	福祉住環境の考え方と実践	2	○	
HA56	福祉心理学	2	○	
HA95	プレステップ経営学	2	○	
HA31	法人税法入門	2	○	
HA97	簿記入門	2	○	
ま 科目の内容はこちらをクリック				
HA77	マーケティングの基本	2	○	
FJ37	問題発見・解決力を伸ばす	2	○	
ら 科目の内容はこちらをクリック				
FV51	労働安全衛生法	2	○	
FV50	労働基準法	2	○	
FV52	労働者災害補償保険法	2	○	
FV54	労働保険徴収法	2	○	
FV58	労務管理その他の労働に関する一般常識	2	○	

科目履修が
入学時に選べる
授業目の一覧

授業科目の内容 (授業科目区分別五十音順)

教養教育科目

科目コード	授業科目名	単位数	授業科目の内容
あ			
GA24	異文化コミュニケーション論	2	<p>異文化とは、自分が属する文化以外のすべての文化を指す相対的な概念であり、異文化の相手からみれば、自分もまた「異文化の相手」となる。文化を異にする者の間のやりとりが、異文化コミュニケーションであり、自分と異なる文化を意識し尊重することが重要となる。</p> <p>本科目では、単に地域や人種の相違だけではなく、性別や職業などの要素も背景とした「異文化」について理解し、さらに、想定される様々なケースについて具体的に考察し、実際の場面で応用可能な異文化コミュニケーションに関する知識の習得を目指す。</p>
GA27	大人の音楽史入門	2	<p>音楽に限らず文化の歴史は、ある歴史的なできごとや人物の出現がきっかけになって時代が劇的に変化するわけではなく、一つの時代様式が徐々に新しい形にとって変わる。時代の端境(はざかい)に活躍した作曲家、例えばベートーヴェンの作品には二つの時代の様式が重なっていた時期がみられる。</p> <p>本科目では、クラシック音楽のルーツや歴史(西洋音楽史)を五つの時代に分け、いろいろな作曲家が生きた時代とその生涯について、残した作品を通して理解と親しみをより深める。</p>
か			
GA18	ガストロノミ (ワインと食文化)	2	<p>本科目では、ワインに関する正統的な知識から、飲むにあたっての料理、味わう場としてのレストラン、背景にある食文化へと視野を広げ、大きな楽しみの分野である飲食への理解を深める</p>

			<p>ものである。</p> <p>美味学とでも訳しうべき「ガストロノミ」の基礎を学ぶ。</p>
FB61	環境論入門	2	<p>「環境学」は、学術分野としてまだ新しい分野である。現在では、「予防」の観点を取り入れることが積極的に行われており、地球温暖化原因物質の排出権取引や環境商品の開発が経営戦略の中に取り込まれている。すなわち環境戦略が企業経営において極めて重要性を増しているといえる。</p> <p>本科目では、環境分野の基礎的な「知識（理論）」と社会的な動向である「フィールド」を組み合わせて学習を進めていく。</p>
FC71	基礎英語（Ⅰ）	2	<p>物語、エッセイ、新聞記事から広告に至るまで、様々な初級レベルの英語の素材の中から文章を選んでおり、幅広く変化に富んだ教材に接することができるように構成されている。特に会話で取り上げられているテーマに関しては、すぐにでも活用できる situation が盛り込まれている。解説部分を丁寧に読み、演習問題をしっかりやってみることにより、基本的な文法の復習も知らず知らずのうちに身につく。</p>
FC72	基礎英語（Ⅱ）	2	<p>テキストは、「基礎英語（Ⅰ）」の履修を踏まえて、全体的に英語独得の表現が増えており、当然のことながら「基礎英語（Ⅰ）」より程度が高くなっている。テキストの中の記事や読みものを通して、日本人との発想の違いや英米人の文化的背景を知ること、語学学習には大切なことである。社会、ビジネス、産業といったテーマが多く、社会人が日常、読み、話し、書くものに慣れるうえで格好の科目である。</p>
FB71	経済学	4	<p>本科目では、いくつかある経済学の中で、スタンダードなものを学んでいく。いわゆる、ミクロ経済学・マクロ経済学と言われているものである。</p> <p>標準的な個人あるいは家計および企業は、与</p>

			<p>えられた条件の下で、どのように合理的な消費や選択をするものなのか、あるいはしていけばいいのか、という消費行動と企業活動の理論がミクロ経済学である。また、広く・大きく一国全体として、生産と消費は国を挟んでどのようなになっているのか、政府の経済政策はどのようなになっているのか、これらを見ていくのがマクロ経済学である。</p>
GA11	健康とスポーツ	2	<p>私たちは、健康への不安、多くのストレスへの対応を余儀なくされる現代において、自分の能力を發揮しながら自己実現に向けて努力している。私たちが自己実現をするには、健康に関する知識や、健康な生活を送るために有効とされるスポーツや運動についての理解を深めることも大切である。</p> <p>本科目では、生きるための心身の健康の意味について認識し、また健康を維持・増進を阻害する要因（運動不足、ストレス、病気等）について理解を深める。その上に自身の健康維持や増進対策、問題点の解決について正しい知識を身につけられるようにする。</p>
GA22	現代ファッションを考える	2	<p>ファッションは、街・ストリートとの関係において、互いに影響を与えながら、例えば原宿・渋谷・銀座・代官山などの話題のエリアとダイナミックな関係を築いている。そしてこの街には、新しいファッションをした（したい）若者が集う。</p> <p>本科目では、キーワードとなる「ストリートファッション」を、戦後から現在にわたる時代の移り変わりとともに現代の女子学生、ヤングファミリーなどの実態や親世代との関係、ファッション都市「東京」の変遷を通じて理解していく。</p>
GA34	コミュニケーション論	2	<p>現代の情報化社会では、モノや情報は足りていても、心が満たされるコミュニケーションがとれない、という状況が起きている。</p> <p>本科目では、対人コミュニケーションに的を絞り、行動科学に基づいた実践的コミュニケー</p>

			シヨンの方法を学習する。テキストの第1・2章では、コミュニケーションの基礎的理論を学習し、第3・4章では「交流分析」と「ソーシャル・スタイル」という実践的手法を用いて豊かな対人関係のあり方を学習する。
さ			
GF01	産業能率大学とマネジメント	1	<p>本学の創立者上野陽一の足跡を振り返り、マネジメントの思想と理念、実践の重要性、そして本学建学の精神を正しく理解する。また、本学が長年にわたり社会のなかで果たしてきた役割や教育の特色を知ることによって、これから体系的に学習するマネジメントに関する様々な授業科目について、興味と関心を深めることを目的とする。</p>
GA05	仕事の社会学	2	<p>仕事とは、収入を伴う社会活動ととらえることができる。本科目では、仕事に従事する人々の多様な働き方と働き方に影響するさまざまな社会制度について理解する。具体的には、戦後の高度経済成長期以降の歴史的変化と国際比較の視点から、日本における働き方の特徴を明らかにする。さらに、人が就職してから定年を経て引退に至るキャリア展開について学習する。</p>
GA09	仕事をマネジメントする	2	<p>今日の経営環境の変化は激しく、これまでと同じやり方では日々直面する仕事を効率的に進め、期待される成果を上げることは難しくなっている。このような状況の中で中堅社員として求められることは、マネジメントの基本を理解し、問題解決能力を高めることである。</p> <p>本科目では、仕事の基本であるPDCAサイクルをもとに、課題づくりと目標の設定、仕事の的確な推進と問題解決能力の知識とスキルを修得する。</p>
GA04	社会学概論	2	<p>社会学は「社会の本質とは何か」を問う学問である。それは同時に、人間とは何か、秩序とは何か、歴史とは何かを問うことでもあり、主観と客観を通じて自己を問い直すことでもある。</p>

			<p>本科目では、まずコトに始まる社会学の誕生から、現代の社会学者たちの学説を学習する。次に、商品開発など、身近な問題を取り上げて、経営学的、経済学的な分析を行い、それを社会的な視点でみるとどうなるかを、考察する。</p>
GA16	社会人常識マナー検定	2	<p>ビジネスの常識を問われるのは、新入社員や若手社員だけではない。ビジネス経験が長くなるにつれ、自分のやり方が観念化して、知識、スキルを振り返ることが少なくなる。</p> <p>本科目は、ビジネスパーソンにとって必要な社会常識やビジネスマナーの基本を学習し、効果的に身につけることを目標とする。</p>
FB60	小論文の書き方入門	2	<p>本科目では、分かりやすく、役に立ち、相手を説得できる文章が書けるようになることを目的とする。出題されたテーマについて書くための準備、文章の組み立て方、表現の仕方、具体的には、資料の集め方等について、順を追って修得していく。さらに、ビジネスの世界で求められる報告書、承認を得るための文章、心をとらえる文章など、ケースごとのポイントについても学習する。</p>
GA33	女性のためのキャリア・デザイン	2	<p>キャリア心理学の視点を踏まえて、実際に自分のキャリアについて幅広く考える科目である。個人が自らのライフスタイルを選択し、自分自身の人生を自分でデザインしていくための考え方の枠組みや情報について学習する。また、自らのキャリアについて考えるにあたり、職業人としてのキャリアだけではなく、家庭や地域社会など様々な場面における役割の相対としてのキャリア（マルチ・キャリア）について多面的に考え、キャリア・デザインをしていく。</p>
FD23	ストレスとこころの健康	2	<p>本科目では、臨床心理学の視点から、ストレスと心身の健康について学習する。</p> <p>具体的にはストレスの定義と原因や、ライフサイクルの各ステージで起こりやすいストレス等について整理する。</p>

			<p>さらにストレスと脳の関係や、心の病の具体的な症状・病名について理解を深めながら、ストレスの対処方法や社会的支援についても学習する。</p>
GA14	政治学入門	2	<p>政治学の中心的な概念は、権力と利害対立である。このように書くと、とても難しい学習領域に見えるが、実はコンビニエンスストアや携帯電話、パスポートなど身近な話題の中からでも、政治学について考えることは可能である。</p> <p>本科目では、大きく変化しつつある政治状況下で、政治と経済、政治と社会、政治のしくみ、政治と世界等について、身近なテーマから、その本質を掘り下げていく。</p>
GA03	世界の歴史	2	<p>従来の「世界史」は、西洋史、東洋史などという枠組みに縛られ、単なる歴史的事実の羅列をしてきた感がある。世界の成り立ちを理解するには、一地域、一時代の詳細を知るより、まず全体の体系を把握し、イメージすることが大切である。世界の枠組みが四大文明から世界の諸地域へ、そしてユーラシア大陸、大西洋を経て地球全体に広がり、ついには「近代国家（国民国家）」が誕生する。</p> <p>本科目では、こうした流れに沿って歴史を眺めることにより、既存の世界史とは異なった体系から世界の歴史についての理解を深める。</p>
FB76	創造性の開発	4	<p>創造性は社会にとっても個人にとっても、貴重で重要な資質・能力である。創造性を開発し、発揮する場面には、組織を通じて行われる場面もあるし、個々人にゆだねられる場面もある。また、現状を修正していくべき場面もあるし、未知の物事を新規につくり出していかなくてはならない場面もある。いずれの場面においても、「生」を輝かせ充実させていくのは、創造をおいてほかにない。</p> <p>本科目では、能力開発の中でも際立って今日的な要求にこたえるテーマである「創造性開発」に</p>

			ついて学習する。
た			
GA23	大学での学び方	2	<p>大学で学ぶためには、「聴く」「読む」「書く」「調べる」「整理する」「まとめる」「表現する」「伝える」「考える」の9つの力が必要である。テキスト学習が中心となる通信教育課程においては、「読む」と「書く」は特に重要なスキルである。</p> <p>本科目では、これからスタートする学習活動において必要とされる、9つの学習技術を身につけていただくことを第一義とするが、単なるテクニックの習得で終わることなく、学習を通じて、「考える」「疑問を持つ」ことの大切さを理解する。</p>
GA28	地理で世界をみわたす	2	<p>ニュースで見聞きする外国の地名が、どこにあるどのような地域なのか、実は分かっていないことがあるのではないだろうか。地理的な常識を身につけることは、現代の世界をより深く理解するために必要である。</p> <p>本科目では、世界のさまざまな地域について、そこがどのような地域なのかを学習するとともに、文化、自然環境、資源・産業等の各視点・切り口から世界をみわたし、現代世界についての理解を深める。</p>
GA30	D.カーネギーの人を動かす	2	<p>社会が超高速で動く現代において、人間（対人）関係はさらに希薄になりつつある。誰もが人間関係を深めたいと思っているが、その術がわからない。D.カーネギーは、社会人として持つべき心構えを興味深い実例を持って説得力豊かに説明する。</p> <p>本科目は、人間関係における深い人間洞察の重要性とヒューマンイズムの根底について理解を深める科目である。</p>
な			
GX01	日本漢字能力検定 I	2	<p>漢字能力検定は平成4年6月に創設されて以来、受験者は回を追うごとに多くなっている。さ</p>

			<p>らに外国語を日常語とする日系人をはじめ、外国の方々にも漢字を通じて日本語を学ぼうとする人は増えており、わが国だけにとどまらず、国際的にも注目度が高まっている資格である。</p> <p>本科目では、漢字習得をめざすあらゆる年代の人に、入学試験や就職試験に合格するためだけに漢字を覚えるのではなく、さまざまな専門分野において活躍するための基礎能力の一つとして、漢字能力を身につけられるようにする。</p>
GA06	日本の文学とことば	2	<p>文学は、豊かな創造的精神をはぐくむ土壌として、時代を超えて私たちに影響を与えてきた。文学の歴史や優れた作品について学ぶことは、私たちに世界に対する新たな認識をもたらし、私たちの想像力・思考力を培ってくれる。</p> <p>本科目では、古代から現代までの日本の文学をそれぞれの時代との関連性において考察し、日本の文学についての認識を深めることを目指す。文学と言葉、個々の作品における形式と内容の問題などを取り上げ、各時代における文学の有様を総合的に学習する。</p>
GA01	日本の歴史（古代・中世・近世史）	2	<p>1つの歴史上の出来事がなぜ起きたのか。その出来事がその後の世の中をどう変えていったのか。歴史上の人物がどういう一生を送っていたのか。本科目では、そうした観点から古代・中世・近世の各段階からテーマや人物などについて考察する。また、新たに起こった芸能や芸術がどのように洗練され体系化されていき、今日私たちが接している姿に近づいていったのか、についても学習する。</p>
GA02	日本の歴史（近現代史）	2	<p>本科目は、単なる事実の羅列ではなく、日本の近現代に関する重要なテーマを通して、新たな視点から歴史を理解していく。さらに、歴史上の人名や出来事をただ覚えるだけではなく、当時の社会が現在とどう異なっていたのかなどについて考察することで、自分がこれから生きていくうえで、物事をより正しく判断できる能力を</p>

			身につける。
は			
GA29	はじめて学ぶ文化人類学	2	<p>文化人類学は、人々が作り出した文化の研究を通じて、人間について考える学問である。その対象は全世界であり、世界中の人々と出会い、諸民族の多種多様な生活・文化に触れ、人間について考察する。世界中のいろいろな人々や文化、ものの考え方をすることは、国際化時代を生きる我々にとって極めて大切であり、そうした広い視野から日本や自分自身を見つめ直してみることも、また極めて有益である。</p> <p>本科目は、その文化人類学への知識の習得を目指す。</p>
GA21	PC ビジネス文書	2	<p>本格的なネット社会を迎えた今日、インターネットおよびパソコン（PC）等の情報機器の活用は不可欠になってきた。</p> <p>本科目では、企業実務において、IT（情報通信技術）を活用する実践的な知識を身につける。具体的には、PC を利用してのビジネス文書を作成および作成した文書、資料の効率的な管理について学習する。</p>
GA07	ビジネス文書の基礎	2	<p>パソコンが普及した現在「ビジネス文書は、形だけ覚えて、少し修正すれば出来上がり」、そんなふうを考えている人も多い。確かに、効率的に文書を作ることは大切であるが、効率的な文書の作成というのは、「文書を作る側」の論理である。ビジネス文書とは、文書を効率的に作成することが目的ではない。</p> <p>本科目では、ビジネス文書を目的に応じて、どのように活用していけばよいのかについて学習する。</p>
GA25	法学概論	2	<p>本科目では、まず憲法からはじまる法律の体系を学習し、法律の全体構成を理解する。さらに、「六法」（憲法、民法、刑法、商法、民事訴訟法、刑事訴訟法）における基本的な考え方を学ぶ。</p>

			本科目の学習を通じて、法律について興味・関心を深め、仕事や日常生活のなかで活用できるようになることを目指す。また、大きなトラブルに巻き込まれないように、少なくとも知っておきたい法律について学習する。
ら			
GA31	論語に学ぶ人徳力	2	人が迷ったとき、東洋では孔子に返るのが常であると言われている。 本科目では、孔子の教えである論語から、君子（リーダー）にはどんな人格が求められるのか、あるいは人間関係にはどう対処すべきか等といった事柄を学習し、実践の場で信頼されるリーダーに必須の「人徳力」について学ぶ。
わ			
GA32	私たちの生活と環境リスク	2	高度に成長した現代社会は、私たちに快適な環境を生み出してきた。一方で大量の資源が消費され、その結果、地球上の物質的なバランスが崩れ自然環境に変化をもたらし、私たちの生活環境のリスクを高めている。 本科目では、私たちが抱える生活環境に関するエネルギー問題や食の問題などの原因と結果、さらにそのリスクについて理解を深め、リスク低減のあり方について考察する。

専門教育科目

科目コード	授業科目名	単位数	授業科目の内容
あ			
HA71	アサーション	2	アサーションとは、「自己の意見、考え、欲求、気持ちなどを率直に、正直に、かつ相手の人権に配慮し、その場の状況に合った適切な方法で表現するコミュニケーション」の方法。自分だけが我慢をする、あるいは相手だけが我慢をする、といった一方通行的な関係では、どこかでゆがみが生じ、円滑なコミュニケーションが成り立たなくなる。本科目では、「相互尊重のもとに自己表現する」というアサーションの考え方を理解し、テキストでトレーニング学習を行いながら、ビジネスなどの実践の場において円滑な人間関係を築くための自己表現スキルの習得を目指す。
HA60	新しい人事労務管理	2	21世紀に入り、人事労務管理をめぐる環境は大きく変化している。例えば、終身雇用制度の終焉、能力主義や成果主義の導入等である。しかし、人事労務管理が果たすべき基本的な役割は簡単に変わるものではない。 本科目では、企業活動が求める人材を確保、育成し、人材が意欲的に仕事に取り組める環境を整備する人事労務管理の基本的な役割について学ぶ。
HA81	英語で語る日本	2	日本が観光立国を目指し、ポップカルチャーをはじめとする日本文化が世界的に注目されるようになった近年、私たち自身が日本の文化や諸事情についてよく知るとともに、日本文化の中で生きている私たち自身の観点から外国の方に日本文化を発信していくことが重要である。 本科目では、日本の伝統文化や現代文化を紹

			介する英文と和訳を用いて、自らが日本文化への理解を深めると同時に、外国の方に伝えるための英語表現を学ぶ。
HA64	英文ビジネスライティング	2	英文ビジネスレターと英文 E メールを上手に書きあげるスキルを身につける。本科目では、英文ビジネスレターの様式、構成要素等を理解するとともに、知っておくべきルールを学ぶ。優れた例文を学習することにより、シンプルでまとまりのある文章を早く書き上げる技術を修得する。
か			
FE32	介護における人間関係	4	<p>2003 年度に障害者基本計画「重点施策実施 5 か年計画」が決定された。基本的な考えは、「リハビリテーション」と「ノーマライゼーション」の理念を継承し、障害の有無にかかわらず、誰もが相互に人格と個性を尊重し支えあう「共生社会」を目指すことである。</p> <p>本科目では、地域社会のなかで豊かで潤いある生活をするために、かかわる側とかかわられる側とが互いに関与しあう相互関係のなかで実現していく人間理解の視点に立ち、理解のために必要な情報、家族理解と援助方法、公的なホームヘルプサービスなど、現場における援助のあり方を学習する。</p>
FE35	家族・地域社会・余暇を考える	2	本科目では、家族形態の変化と家族のライフサイクル、中高年期の夫婦の課題など、中高年における家族の課題について考えるとともに、中高年期の家庭経済についての基礎知識を学ぶ。また、地域社会での役割や機能、社会参加とボランティア活動という側面と、余暇活動という側面から、生きがいづくりをどのように進めていけばよいかを明らかにする。また、家庭経済プランの立て方や貯蓄、年金の基礎知識も学習する。
FD40	考える力をつける	2	「考える」という行為は、誰から教わることもなく物心ついた頃からすべて自己流で行ってきた。また言うまでもなく、「考える」という行為

			<p>は、私たちにとって一つの手段でしかないが、最終目標・成果を達成するには避けて通れない。</p> <p>本科目では、「考えて」まとめる「力」を身につけ、職場・家庭・地域活動で使える問題解決手法・技法を理解する。また欲しい答えになるべく効率的にたどり着くためには、どのような方法で考えればよいかについても考察する。</p>
FT32	企画書のつくり方	2	<p>情報をより早く、わかりやすく伝えるためには、文字だけではなく、図形による情報の視覚化が有効である。ビジネスの場面で、この情報の視覚化が最も必要とされるものに企画書がある。</p> <p>本科目では、わかりやすい企画書の作成を主眼に置いて、まず企画書とは何か、そして情報や論理の整理、それらを視覚化することを学習する。</p>
HA84	企業家に学ぶ経営	2	<p>今日までの歴史の中で、幅広い分野において様々な経営活動が営まれており、ビジネスの成功が社会の発展を、逆にその失敗が停滞をもたらすという経験が繰り返されてきた。</p> <p>本科目では、企業を成長させてきた創業者・企業家の活動や、歴史的な背景を含めた企業活動を具体的な事例から学習する。様々な分野の経営活動から、先人が経験し蓄積してきたビジネスのポイントを学び取ることで、経営の基本的な知識を身につける。</p>
FE33	健康と生きがい	2	<p>健康と生きがいは、だれにとっても不可欠のものである。とくに定年退職後における健康づくりや生きがいづくりへの意識が高まっている。具体的には、ゆとり、余暇、生涯学習、ボランティア活動等の必要性やライフスタイルの变革が叫ばれている。</p> <p>本科目では、高齢化の急速な進展による問題等について触れ、次に高齢化社会の課題、21世紀の高齢者像について学習する。さらに生きがいの定義・概念について、また「健康」と「生きがい」との関係を深く掘り下げながら理解を深</p>

			める。
FE34	健康と福祉	2	<p>本科目では、中高年の心身の健康づくりについて、運動、生活習慣病、食生活、栄養、休養、ストレスの各側面から詳しく学ぶとともに、健康づくりの現状と課題についても、行政施設および民間健康増進施設などと、企業・健保組合などの取り組みという側面から学ぶ。</p> <p>福祉については、施設から在宅へという時代の流れや、介護保険制度とアドバイザーのかかわりなどについて学ぶ。年金、医療については、高齢化の進展に伴う年金と医療の現状や問題点から、年金制度および医療保険制度のそれぞれの概要と課題までを学習する。</p>
FV55	健康保険法	2	<p>健康保険法は、その歴史も古く大正時代から続く法律であり、民間企業で働く被保険者および被扶養者の業務外の事由による疾病、負傷、もしくは死亡または出産に関し保険給付を行うことを目的として制定された法律である。</p> <p>本科目では、健康保険制度のしくみ、適用される者の範囲、保険料の負担方法、および各保険給付ごとの支給要件、支給額などを学習する。実際の医療保険の適用される内容とあわせて、適用される者がどのようなしくみの中で医療保険の対象者として保護されているかを把握することも重要である。</p>
HA83	現代企業がわかる	2	<p>日本経済の「成長の奇跡」を引き起こした、終身雇用や年功序列といった日本企業の独自性がその優位性を失いかけている。</p> <p>本科目では、企業の形態、組織構造、経営の仕組み、戦略、政府との関係などの様々な観点から、現代の企業とは何かについて明らかにしていく。また、企業の社会的責任や国際化への対応などの今日的課題についても学習する。特に国際化については、成長著しいアジア市場が隣にあるというメリットを活かして日本企業が発展する可能性について考察する。</p>

FV57	厚生年金保険法	2	<p>厚生年金保険法は、民間企業で働く者、公務員、私学教職員を対象とする公的年金制度であり、国民年金を土台とした2階部分を担う仕組みになっている。また、適用関係は健康保険法と、給付関係は国民年金法の給付と、それぞれ共通する部分が多い。</p> <p>本科目では、この二法をベースに被保険者、給付関係の理解を深めるとともに、厚生年金保険法独自の取り扱いの部分（老齢に関する保険給付、高齢任意加入被保険者、第四種被保険者、特別支給の老齢厚生年金、障害手当金、遺族厚生年金の中高齢の寡婦加算など）についても学習する。</p>
FL71	行動科学	4	<p>人間の行動を科学的・総合的・学際的に研究する学問として発展してきた行動科学は、いろいろな場面において、実践的活用がなされている。その研究領域は、個人的行動の特性、組織内の行動、社会的・経営的行動、さらに社会や文化にかかわる人間行動である。これらの人間行動に関する行動科学諸理論を概観し、その基本的考え方とともに、その応用領域における理論とその成果を理解し、さらに人間行動研究のマネジメントにおける重要性を認識し、問題発見、問題解決に欠かせない人間的要素を考慮できる人間形成を目的とする。</p>
HA57	高齢者心理学	2	<p>かつて老年期は、人生区分の最終段階であり、身体の老化とともに心理的衰退を見る時期とされていた。しかし、高齢社会を迎えている現在においては、あてはまらなくなっていると言ってもいいのではないか。</p> <p>本科目では、老年期における心理を幼児期から成人期までの発達段階での生き方を通して学んでいく。将来の自分の姿の投影として学ぶことで、より理解も深まる。</p>
FE36	高齢者の雇用問題	2	<p>高齢者をめぐる雇用の現状と、それに対する行政の施策や企業の雇用対策について学ぶと</p>

			<p>もに、雇用される側の就業形態の多様化の状況について学習する。特に少子・高齢社会における中高年の社会的役割の重要性を理解するとともに、雇用情勢の厳しい中高年労働市場において、中高年自身の能力開発の必要性や、長くなった高齢期における生きがいと就労とのかかわりについて、深く掘り下げる。</p>
HA55	高齢者の福祉	2	<p>高齢者を取り巻く環境は、自身の健康面でも、経済面でも、家族関係においても実に多様化してきている。そして、高齢者が生き生きと安定した老後を過ごすために何が必要なのか、ますます見えにくくなってきている。</p> <p>本科目では、高齢者が自立期、虚弱期、要介護期、ターミナル期を通して、安心して生活を送るために必要な援助とは何か。社会環境、保健医療、法制度、ケアサービスなど、高齢者を支える仕組みについて学習する。</p>
HA76	国際経営	2	<p>激しく変化する国際環境の中で、グローバルに展開している日本企業が増えている。</p> <p>本科目では、日本企業の国際経営の実態（輸出、海外生産、海外研究開発・技術移転、輸入、技術導入、外国企業との合弁など）を把握し、その特徴・課題を明らかにしていく。また「海外進出」や「先進国」を中心とした、従来の国際経営の視点に加え、新興国などの受け入れ側の視点と、具体的な事例から理解を深める。</p>
HA82	国際社会を学ぶ	2	<p>本科目では、複雑な国際社会を理解するために、国際平和、国際開発と援助、国際政治、国際協力、異文化コミュニケーション等の観点から、国際学の基本的な考え方について学習する。また、世界の各地域が現在、具体的にどのような動きの中にあるかについても考察し、国際社会についての理解を深める。</p>
FV56	国民年金法	2	<p>国民年金法は、国民の老齢・障害・死亡に関して支給される全国民共通の基礎年金について定めた法律である。本科目では、被保険者関係（被</p>

			<p>保険者の種別ごとの適用の要件、資格の取得・喪失日、任意加入被保険者の資格の取得・喪失)、給付関係(各給付の支給要件、支給額、支給停止、失権)、保険料関係(保険料の額、免除、追納、前納等)が学習の中心となる。また、高齢化社会を背景とした、年金制度における国民年金の基本的な位置付けや厚生年金との関連を理解する。</p>
HA86	コトラーの成長戦略	2	<p>不確実な政治と急速に変化する経済環境に直面する現代において、政府だけでなく、民間企業に対しても知的対応が求められている。</p> <p>本科目では、「マーケットシェアの拡大」や「強いブランドの開発」など、コトラーが提唱する8つの成長戦略について学習し、企業が長期的に持続可能な成長と繁栄を得るための方法について考察する。</p>
FV53	雇用保険法	2	<p>本科目では、「雇用保険の目的、適用事業」、失業者の生活の安定を図る「失業等給付」、求職活動を容易にするための「求職者給付」、再就職を援助する「就職促進給付」、教育訓練支援のための「教育訓練給付」、および「雇用安定事業等」などについて学習する。</p> <p>特に、被保険者の種類、可否、種類ごとの給付要件、給付額、手続きなどの理解は重要であり、雇用保険法の中心となる失業については、失業等給付(基本手当等)を受けるまでの一連の流れ(しくみ)を把握することが保険制度の全般的な理解につながる。</p>
HA91	これからの女性の働き方	2	<p>日本では、働くことを取り巻く環境が大きく変化している。例えば、「専業主婦」は少数派になり、若年男性では非正社員化が進んでいる。また、長時間就業を伴う男性正社員中心の職場でも、国内外から“ダイバーシティ(多様性)”が求められているが、日本で働くことの男女格差は大きい。職場で、特に女性のほうがハラスメントを受けたり、逆に保護されやすい傾向が認め</p>

			<p>られる。</p> <p>本科目では、特に女性や若年層の働き方の多様性と取り巻く環境について、家庭・企業・地域・日本・世界の現状や法制度などから考察する。</p>
さ			
GA15	サービスマインドの基本	2	<p>サービスマインドとは、「奉仕のような心構えで、顧客を尊重し、顧客の立場に立って考え、行動する」ことである。</p> <p>本科目では、真の顧客満足を実践するためのサービスマインドを身につけることを目指す。お客様に対面で無償サービスを提供できる販売・サービス部門の方々に、特に学習できるよう開発したが、その他の部門で働く方々にも有意義な内容となっている。</p>
HA93	実践英語・リスニング	2	<p>使用テキストは、TOEIC®のリスニングセクションのスコアアップを目指す人向けに書かれている。したがって、本科目はテキストをしっかりと勉強することにより、TOEIC®問題に慣れるとともにリスニングセクション対策に役立てることが可能である。</p> <p>また、そうした勉強を通して、英語の基礎固めをしてビジネスにおいて応用が利くリスニング力、会話力、語彙力を培っていく。テキストの問題を多く解き、繰り返し解説を読み、重要なポイントを押さえ、最終的にTOEIC®テストへの高得点を目指す。</p>
HA94	実践英語・リーディング	2	<p>日常生活やビジネスの場で使われている英語表現を理解し、英語によるコミュニケーション能力の向上を目指す。特にテキストを通してTOEIC®の問題形式に慣れることと問題演習を通して、リーディング能力全般の向上を目指す。意味がわからない単語があっても想像しながら設問を解くことを心がけたい。その上で、解答・解説をしっかりと読み、知らなかった語彙は文脈の中で覚え、文章の構造をじっくりと確認する</p>

			ことが大切である。
FD22	社会心理学	2	心理学の研究分野の中でも、特に人の行動に影響を及ぼす対人関係や環境要因に着目したのが、社会心理学である。本科目では、社会心理学の歴史、目的と研究領域を示す「社会心理学の成立とその独自性」をはじめとして、各論である社会的知覚、対人認知、偏見、帰属、態度、説得的コミュニケーション、自己、対人関係、他人への攻撃と援助、人との関わり方としてコミュニケーションの種類と機能、集団とリーダーシップ、他人への影響力、流言・群集・流行などの集合現象、文化の影響について理解を深める。
HA54	社会福祉入門	2	近年における社会経済の激変に加えて、急速な少子高齢化は私たちの生活にいろいろな衝撃を与えている。こうした情勢の中で社会福祉の重要性はより鮮明になってきている。 本科目では、社会福祉に関する基本的な考え方や歴史変遷、近年の変革を学ぶことを通して、私たちが主権者として、また社会福祉の利用者として、「これからの社会福祉」が発展していくために必要な知識を体系的に理解していく。
FV59	社会保険に関する一般常識	2	本科目では、社会保険全般について広く知識を持つことがねらいとなる。具体的には、社会保険の概要、沿革をはじめ、社会保険関係法（国民健康保険法、児童手当法、高齢者医療確保法、介護保険法、船員保険法、確定拠出年金法、確定給付企業年金法、社会保険労務士法など）、社会保険制度の共通（相違）事項、社会保険の管理運営など、厚生行政一般について広く学習する。国民健康保険法、高齢者医療確保法、船員保険法の三法令については、健康保険法と比較した場合に、それぞれの法令のもつ独自の・特徴的な規定を中心に理解を深める。
HA96	社労士の基本を学ぶ	2	社会保険労務士コースの学習を始めるに際し、最初に取り組むべき科目である。 本科目では国家試験の内容、学習の方法、法律

			の基礎知識を学習したうえで、各試験科目についてその概要を学習する。さらに国家試験科目間の相互関係とその基礎部分の確かな理解を深める。
FD20	生涯発達心理学	2	<p>人間の心や行動の解明を、その発達のしくみと関連づけたものが、発達心理学である。</p> <p>本科目では、最近新たに発展してきた生涯発達心理学の視点を取り入れている。心の発達、認知の発達、ことばの獲得と発達、教育の過程、人格（パーソナリティ）の発達などの、発達心理学の基本をベースに、青年期の特質とそこでの対人関係と知的機能における発達の意味を考える「青年期の展開」、成長発達の過程において起こる危機と阻害の問題を考える「発達の危機と阻害」、人間の心身発達の問題を問い直す「生涯発達心理学の課題」について学習する。</p>
HA88	初級メンタルヘルス・マネジメント	2	<p>職場におけるメンタルヘルス対策は、人事担当者、マネジャー、メンバーがそれぞれの役割を認識し、メンタルヘルスの正しい知識を身につけておくことが重要である。</p> <p>本科目では、主に一般社員を対象として、自らのストレスの状況・状態を把握してケアを行い、必要であれば助けを求めることができることを目標としている。</p>
FJ38	情報解釈力を鍛える	2	<p>たくさんの情報を収集できるようになったのに比べ、収集した情報を上手に活用することは難しい。また職場・家族・地域社会などの組織や共同体においては、関係者を説得し理解・納得を得なければ、種々の課題解決は難しくなる。円滑なコミュニケーションをして、話を前に進ませるその基礎となるのが的確な情報解釈力である。</p> <p>本科目では、社会人として情報を上手に活用するためのカギとなる情報解釈力の考え方を理解し、高め方を学ぶ。</p>
HA61	情報ビジネス概論	2	本科目では、eビジネスに関する経営と技術

			の全体像を理解する。eビジネスが既存のビジネスをどのように変え、新たな企業戦略やビジネスモデルが生まれているかを理解する。そして、またeビジネスの裏側での情報システムやネットワークの活用方法の概要についても学習する。
HA87	スティーブ・ジョブズのイノベーション	2	<p>56歳という若さでこの世を去ったスティーブ・ジョブズは多くの者が知るアップル社の創業者のひとりである。紆余曲折を経てアップル社のCEOとなり、斬新な発想や行動力で世界の音楽業界や携帯電話業界を大きく変えていったことは誰もが知るところである。</p> <p>本科目では、「ジョブズならどうするか」をキーワードに、自らの仕事や生き方などを変革し、行動していくために必要となる考え方をジョブズの視点を通じて理解していく。</p>
HA98	税理士のための簿記論Ⅰ	2	<p>簿記は暗記する科目ではなく、考える科目である。単に計算手法を学ぶのではなく、すべての取引を複式簿記のルールに基づき、各論点についてあるべき結論を導出するための数字の動かし方(仕訳の仕方)を理解し、使いこなせることが必要である。</p> <p>本科目では、株式会社の基本的な取引を内容とする簿記処理を体系的に理解できるようになることを目指す。</p>
HA99	税理士のための簿記論Ⅱ	2	<p>簿記は企業という経済主体が行う経済活動を貨幣額に基づいて記録、計算し報告する技法をただ学ぶのではなく、すべての取引を複式簿記のルールに基づき、各論点についてあるべき結論を導出するための数字の動かし方(仕訳の仕方)を理解し、使いこなせる能力が必要である。</p> <p>本科目では、株式会社の基本的な取引を内容とする簿記処理を体系的に理解できるようになることを目指す。</p>
HH01	税理士のための簿記論Ⅲ	2	<p>簿記は企業という経済主体が行う経済活動を貨幣額に基づいて記録、計算し報告する技法を</p>

			<p>ただ学ぶのではなく、すべての取引を複式簿記のルールに基づき、各論点についてあるべき結論を導出するための数字の動かし方（仕訳の仕方）を理解し、使いこなせる能力が必要である。</p> <p>本科目では、株式会社の多様な取引を体系的に理解し、会計処理ができるようになることを目指す。</p>
HH02	税理士のための簿記論Ⅳ	2	<p>簿記は暗記や単に計算手法を学ぶのではなく、すべての取引を複式簿記のルールに基づき、各論点についてあるべき結論を導出するための数字の動かし方（仕訳の仕方）を理解し、使いこなせることが必要である。</p> <p>本科目では、株式会社の基本的な取引を内容とする簿記処理を体系的に理解できるようになることを目指す。</p>
HH03	税理士のための財務諸表論Ⅰ	2	<p>本科目の目的は、財務諸表論を学習し、企業の財務データを分析し、理解する力を身に付けること、また、財務諸表を作成する基礎知識を得ることになる。財務諸表論は、範囲が広く膨大な学習が必要になるが、HH03～HH07（税理士のための財務諸表論Ⅰ～Ⅴ）を学習することで、全範囲の基礎学習が完結する。簿記の基礎知識が必要なため、「税理士のための簿記論」と同時に履修するか、「税理士のための簿記論」を先に履修することを推奨する。</p>
HH04	税理士のための財務諸表論Ⅱ	2	<p>本科目の目的は、財務諸表論を学習し、企業の財務データを分析し、理解する力を身に付けること、また、財務諸表を作成する基礎知識を得ることになる。財務諸表論は、範囲が広く膨大な学習が必要になるが、HH03～HH07（税理士のための財務諸表論Ⅰ～Ⅴ）を学習することで、全範囲の基礎学習が完結する。簿記の基礎知識が必要なため、「税理士のための簿記論」と同時に履修するか、「税理士のための簿記論」を先に履修することを推奨する。</p> <p>*HH03（税理士のための財務諸表論Ⅰ）からの</p>

			継続授業となる。
HH05	税理士のための財務諸表論Ⅲ	2	<p>本科目の目的は、財務諸表論を学習し、企業の財務データを分析し、理解する力を身に付けること、また、財務諸表を作成する基礎知識を得ることになる。財務諸表論は、範囲が広く膨大な学習が必要になるが、HH03～HH07（税理士のための財務諸表論Ⅰ～Ⅴ）を学習することで、全範囲の基礎学習が完結する。簿記の基礎知識が必要なため、「税理士のための簿記論」と同時に履修するか、「税理士のための簿記論」を先に履修することを推奨する。</p> <p>*HH04（税理士のための財務諸表論Ⅱ）からの継続授業となる。</p>
HH06	税理士のための財務諸表論Ⅳ	2	<p>本科目の目的は、財務諸表論を学習し、企業の財務データを分析し、理解する力を身に付けること、また、財務諸表を作成する基礎知識を得ることになる。財務諸表論は、範囲が広く膨大な学習が必要になるが、HH03～HH07（税理士のための財務諸表論Ⅰ～Ⅴ）を学習することで、全範囲の基礎学習が完結する。簿記の基礎知識が必要なため、「税理士のための簿記論」と同時に履修するか、「税理士のための簿記論」を先に履修することを推奨する。</p> <p>*HH05（税理士のための財務諸表論Ⅲ）からの継続授業となる。</p>
HH07	税理士のための財務諸表論Ⅴ	2	<p>本科目の目的は、財務諸表論を学習し、企業の財務データを分析し、理解する力を身に付けること、また、財務諸表を作成する基礎知識を得ることになる。財務諸表論は、範囲が広く膨大な学習が必要になるが、HH03～HH07（税理士のための財務諸表論Ⅰ～Ⅴ）を学習することで、全範囲の基礎学習が完結する。簿記の基礎知識が必要なため、「税理士のための簿記論」と同時に履修するか、「税理士のための簿記論」を先に履修することを推奨する。</p> <p>*HH06（税理士のための財務諸表論Ⅳ）からの</p>

			継続授業となる。
FD42	説得・交渉力を高める	2	<p>本科目では、「論理的に思考し、表現する力」を基本にした説得力と交渉力を、さまざまなケーススタディを通して学習する。説得・交渉力の必要性、ロジカル・ネゴシエーションの手法、交渉の基本パターンと合理的な説得の技法、説得・交渉における戦略と戦術、交渉力を高める情報収集と意思決定の方法について、理解を深める。</p>
HB03	組織のマネジメント	4	<p>組織のあり方が大きく変貌し、組織と個人の関係のあり方も大きく変化しつつあるなかで、組織に関する理解を深め、その対応について考えることが必要となっている。</p> <p>本科目では、企業における経営組織論の基本的な考え方となる、動機づけやリーダーシップなど、組織メンバーに焦点をあてた「マイクロ・アプローチ」、そして組織の構造、形態、文化など組織そのものに焦点をあてた「マクロ・アプローチ」に基づいて学習する。</p>
HA29	租税法入門	2	<p>租税に関する基本的な考え方や原則を理解しておくことは、個別の税法を学習するにあたって極めて有効である。</p> <p>本科目では、まず、租税の特徴と種類、租税の根拠や租税法主義など、租税に関する基本的な考え方と原則について学習する。次いで、個人への課税と企業への課税に分けて、その基本的な考え方と仕組み、専門用語について解説する。さらに、申告や納税などの手続面についても学習し、租税の全体像を概観する。</p>
た			
FD41	伝える力を伸ばす	2	<p>社会人にとって、よく人の話を聴き、はっきりと自分の言いたいことを伝えられる、ということは基本中の基本である。</p> <p>本科目では、心を通わすコミュニケーションとはどういうものか、コミュニケーションそのものを理解し、その上で「人に伝える力」の重要技術としてのプレゼンテーションの方法を学</p>

			<p>ぶ。</p> <p>コミュニケーション力・プレゼンテーション力を高め、演出・表現力を磨き、人間的魅力を格段にアップさせることをねらいとする。</p>
な			
FD21	人間関係を学ぶ心理学	2	<p>本科目は、心理学の研究分野の中でも、特に人間関係に関わる事柄を扱う。人間関係の基礎としてパーソナリティ、人間関係を動かすものとして動機づけとフラストレーション、そして、発達段階に応じた人間関係の発達、人間関係の始まりとして「自己」や「対人認知」、人間関係の展開として「態度」や「援助」、職場と社会の人間関係、人間関係の障害と改善、および治療について理解を深める。</p>
は			
HA75	P.F.ドラッカーに学ぶマネジメント	2	<p>ドラッカー (Peter F. Drucker:1909-2005) が述べている「マネジメントの基本と原則」は、現代社会においても組織をマネジメントする上で、基本とすべき考え方と言える。</p> <p>本科目では、ドラッカーの著書『マネジメント:エッセンシャル版』を紐解きながら、自らの国、経済、社会、技術、市場、組織体、労働者が直面する課題は何か、そしてそれに適用していくマネジメントについて、ドラッカーが示している基本と原則とはどのような内容かなどを学習する。</p>
HA72	ビジネス対話の技術	2	<p>各人それぞれの背景のなかで生まれてきた我々は、他人と全く同じ考えを持っていることはありえない。様々な人間関係や場面の中で人とぶつかりあい、葛藤と軋轢を重ねながらも、これらを乗り越えていくことが求められている。</p> <p>本科目では、ビジネスの場において win-win の関係をつくり、成果を上げていくための協調的なコミュニケーションの方法を理解していく。</p>

HA58	秘書実務Ⅰ	2	<p>業務が殺到する管理者にとって、秘書の存在は非常に大きく、その役割を果たすためにさまざまな能力を身につけなくてはならない。</p> <p>本科目では、秘書としての基本的な「心構え」「役割」「業務」とともに、仕事に関わるさまざまな「知識」を中心とした基礎的な点を学んでいく。</p>
HA59	秘書実務Ⅱ	2	<p>秘書は仕事柄、実に多くの人と接する機会があるだけでなく、上司やあるいは企業の印象にも結びつく大切なポジションにいるのである。</p> <p>本科目では、秘書としての必要な「マナー」「接遇（もてなし）」の理解を高めるとともに、具体的な「技能」を学んでいく。</p>
FS73	福祉住環境の考え方と実践	2	<p>少子化と相まって世界でも例を見ない高齢者の多い国へと変化を遂げているわが国において、不便や不自由を解消するために、安全で安心できる住環境等（住宅内に限ったことではない）の社会環境を整備することは、極めて重要となっている。</p> <p>本科目では、福祉と住環境の関連分野の基礎的な知識について理解を深め、高齢者や障害者のための住環境の整備にあたって、より安全・安心・快適で自立した生活を送れるよう、その基本技術を学習する。</p>
HA56	福祉心理学	2	<p>福祉とは「しあわせ」という言葉に置き換えることができる。その「しあわせ」とは多くは心の問題であり、心の有り様の問題である。</p> <p>本科目では、人間の心の有り様を考えることに加え、人が安心して生きる社会を構築するという新たな福祉の概念を理解していく。また、福祉を「補償」から「予防・保健」へ、高齢社会を「ネガティブな認識」から「豊かさの創造」へ、という新たな考え方についても学習する。</p>
HA95	プレステップ経営学	2	<p>本科目は、経営学の基本を修得し、様々な専門科目を学習するにあたっての礎石となるべき科目である。経営学は企業を研究する学問である</p>

			<p>と言えるが、企業は多くの人々にとって大変身近な存在であるため、経営学を学習する意義は大きい。また、近年の日本企業については、経営の根本思想や制度・仕組みなどを大きく変える取り組みも目立つようになっている。</p> <p>本科目を学習することで、経営学と企業の基本的な枠組みを理解し、経営やビジネスについて自ら積極的に考え、さらに行動に移せる能力を涵養することが大切である。</p>
HA31	法人税法入門	2	<p>本科目では、法人税法を初めて学ぶ方々を対象に、法人税法の基本的な仕組みをわかりやすく解説する。具体的には、企業会計上の「収益」・「費用」と法人税法上の「益金」・「損金」との違いは何か、法人税額はどのように計算するのか、申告と納税の仕組みはどのようになっているのかなど、法人税法の基本的事項をしっかりと理解することを学習の目的とする。</p>
HA97	簿記入門	2	<p>簿記は経済社会で使われる「共通のことば」である。これを学ぶことによって企業活動がより理解しやすくなる。</p> <p>本科目では、「簿記のなりたち」「仕訳の意味」「決算書の作成」という流れに沿って、簿記の基礎を身につけ、マネジメントの体系的な学習に役立てて、ビジネスのさまざまな場面で活用できるようになることを目指す。</p>
ま			
HA77	マーケティングの基本	2	<p>マーケティングの考え方は、1950年代に日本に紹介され、社会の様々な場面に浸透してきた。本科目では、マーケティングをはじめて学ぶ方、基本から学び直したい方に向け、マーケティングが世の中でどのような役割を果たしているのかを理解し、マーケティングを活用するための理論を習得することを目指す。</p>
FJ37	問題発見・解決力を伸ばす	2	<p>現代社会が複雑化するにつれて、社会人が直面する問題も多様化し解決が困難になってきている。問題解決をうまく進めることができるか</p>

			<p>どうか、家庭生活や仕事を大きく左右することになる。</p> <p>本科目では、社会人となり、勤と経験と度胸、見よう見まねで問題解決をしてきた方に向け、社会人が日々直面する様々な問題を取り上げて、標準的な技法を用いた問題解決の進め方を学習する。</p>
ら			
FV51	労働安全衛生法	2	<p>労働安全衛生法は、安全衛生確保のための総合的な法制として立法化されたもので、労働災害の防止などによる労働者の安全と健康の確保とともに、さらに快適な職場環境の形成を促進することを目的としている。本科目の学習では、これらの目的を達成するために、事業者には課せられている事業場内や作業場所の安全衛生管理体制に関する措置、危険な機械や有害な化学物質の製造や流通段階での規制、健康の保持増進を図るための措置などの理解を深める。</p>
FV50	労働基準法	2	<p>労働基準法は、他の社労士関連法令科目が「保険のしくみ」をもとに構成されているのに対し、「労働者保護の基本法」として構成されている。すなわち、国が労働条件の最低基準を提示し、この基準を下回る使用者に対して罰則を適用し、労働者を保護する“取締法”的内容となっている。</p> <p>本科目では、労働契約関係、賃金関係、労働時間、休憩、休日および年次有給休暇関係、年少者関係、女性関係、就業規則関係などの規定において、労働者がどのように保護されているか、その原則と例外を理解する。</p>
FV52	労働者災害補償保険法	2	<p>労働者災害補償保険法は、労働者の業務災害について、事業主の災害補償負担の緩和と、労働者に対する迅速かつ公平な保護を確保することを目的として制定されたものである。</p> <p>本科目では、保険給付ごとに、支給要件、支給内容（給付基礎日額含む）、支給調整、時効など</p>

			について整理し理解する。また、“特別支給金” “特別加入者”などの労災保険独自のしくみ、労災保険適用の範囲や「業務災害」「通勤災害」認定の基準なども、あわせて理解を深める。
FV54	労働保険徴収法	2	<p>労働保険徴収法は、労働者災害補償保険と雇用保険の適用・徴収事務の合理化・簡素化により、事業主の事業負担の軽減を図ることを目的として制定されている。したがって、両者の保険料徴収については、この労働保険徴収法でまとめて規定されている。</p> <p>本科目では、「保険関係の成立及び消滅と労働保険の適用」「労働保険料の具体的な計算」「概算保険料・確定保険料の申告・納付手続き」「印紙保険料」「労働保険事務組合」「不服申し立て」などについて学習する。</p>
FV58	労務管理その他の労働に関する一般常識	2	<p>企業経営において人的資源の活用は重要であり、そのためには労務管理全般についての実務的な知識が必要となる。</p> <p>本科目では、「労働関係法規」「労務管理」「労働経済」について広く学習する。「労働関係法規」については、雇用関係法規、賃金関係法規、労使関係法規、その他の関係法規を中心に、「労務管理」については、雇用関係管理、賃金関係管理、人事・労務管理とこれらの項目に関連する労働時間、賃金関係等を中心に、「労働経済関係」ではデータを中心に理解を深める。</p>